

2025 年度第 11 回

学校関係者評価報告書

実施日：2025 年 6 月 6 日（金）

北斗会看護専門学校

学校関係者評価委員会

I. 学校長挨拶及び趣旨説明

今年卒業の46回生は看護師国家試験に全員合格し嬉しい。卒業時には「一歩前進二歩後退」ということを学生に話したが、良い結果となり嬉しい結果であった。入学生の48回生、も含めて学生のモチベーションが上がっている。看護師国家試験合格に向けて今年度もご協力をいただきながら運営していきたい。

II. 委員及び参加者紹介

<学校教職員>

学 校 長 深尾 晃三、 学校事務部長 濱田 潤
副 学 校 長 石川 美佐子、 教務主任 小林 愛
実 習 調 整 者 森元 茜

…計5名

<委 員>

委員長

学校周辺の地域に精通する地域住民または地元企業関係者として
未来SS義塾 豊中市保護区保護司会 地域での育成活動を行われている。
豊中市で行われる敬老の日のイベントに学生がボランティア活動に参加
させていただくなど地域活動への支援もご協力いただいている。

山本 和央 様

関連業界等関係者として学校周辺の病院施設また、多くの卒業生の受け
入れ実績を有する病院の管理者である

医療法人篤友会 坂本病院

副看護部長 山口 順子 様

教育に関する分野の有識者。本校へ多くの学生が入学しており、継続した
看護基礎教育に取り組む

高槻市医師会看護学校

副学校長 辻 節 子 様

なお、山本様は本日欠席となるが、後日ご報告、情報共有を行う。

…計3名

本日参加2名

合計8名で構成されている。よろしくお願いいたします。

Ⅲ. 学校評価の事業計画及びスケジュールについて資料に基づき説明

ー資料に基づき 2025 年度の学校評価のスケジュール概要説明ー

Ⅳ. 前年度自己評価に基づく事業計画について

中期 5 か年計画の二期目の 2 年目となる。

1. 1年生、2年生ともに新カリキュラムで運営される。「思いやりと感性あふれる看護師を育成する」教育目的を達成できるよう教職員全体で取り組む。
 - 1) 行事活動、学校外活動、委員活動、異学年交流などの機会を大切にして成長の機会とする
 - 2) 学生の自律、一人一人の強みを発揮できる機会を大切にする
2. 学生の教育活動の中心的役割となる学生担当制により学生を支援する
 - 1) 複数名で構成することで多角的に学生を捉え、1年2年共に担当することで異学年交流の機会を多くもつ
 - 2) 教科担当、講師等の意見を聞き、連携を図る
 - 3) 課題の早期解決に向けて、把握と計画立案に努める
3. 学生との関わりの中心となる学生担当教員間のコミュニケーションを充実させ、学生担当体制の充実、教育力の向上を図る。
 - 1) ミーティングや情報共有を有効に活用する
 - 2) 研修参加、教材研究のための時間を作る
 - 3) 互いの考えを伝え合う機会、看護は楽しいと語り合える時間を大切にする
 - 4) 基礎学力の向上に向けて計画的に取り組む
4. 学生のニーズに応えるキャリア教育の充実
 - 1) 専門職としての意識を育てる機会を大切にする
 - 2) 2年間通してビジョンワークの機会を持ち、成長を感じられるようにする
 - 3) キャリアガイダンスの充実とキャリアデザインサポート(キャリサポ)の充実
 - ・希望者就職 100%
 - ・大阪府内の就職率 80%
 - 4) 看護師国家試験合格率 100%を目指した学習支援の充実
5. 「定員 40 名を満たした魅力ある学校づくり」の目標は引き続き継続し、学生確保に取り組む。
 - 1) 定員 40 名を目指す
 - ・四次入学試験を設定し、入学希望者を確保する
 - ・オープンキャンパス、デイナイトオープンキャンパスの充実と情報発信 SNS の活用
 - 2) 学校訪問の拡充
 - ・法人と協力し学生及び将来病院職員となる奨学生のアナウンスの機会を増やす
 - ・入学生の出身校への訪問
 - ・学生の様子を伝える機会を増やす
 - 3) 進学希望者が見込まれる病院への訪問

V.重点目標 概要説明 資料参照

2024年度は新カリキュラムによる教育を受けた学生が卒業し、再受験の学生も含めて、看護師国家試験100%の合格を成し遂げることができた。しかし、学生間の基礎学力の差が明らかであり、入学した全ての学生が主体的に学ぶ力を持ち、一人一人が基礎学力の向上に向けて取り組むことができる支援のあり方が課題である。

今年度入学の学生は定員を満たすことができなかった。学校の強みと魅力を発信し、定員40名を満たした魅力ある学校づくりは課題である。在校生、卒業生、法人の力をかり、学校全体で取り組む必要がある。

また、看護専門職となる夢を持って入学した学生自身がキャリアデザインを描き、地域で活躍できる有望な看護師として育つための取り組みは定着しつつある。これは重要な入学動機となっており、2年間のカリキュラムとして、キャリアマネジメント、ビジョンワーク、キャリアガイダンス、キャリアデザインサポートを充実させることは学生のニーズを満たす重要な課題である。

これからも選ばれる学校となるために「**全ての学生と教員が看護は楽しいとイキイキする学びの場～看護専門職としての学生一人一人を大切にした教育～**」を前年度に引き続き重点目標にげ、教育内容の充実を図り、教職員が丸となって発展させていきたい。そのために①学生間、学年間の交流を図り、思いやりと感性あふれる教育場面の充実を図る。②主体的に学ぶ力を育てる。③定員40名を満たした魅力ある学校づくり。④キャリアデザインを支援する。以上を方針・目標として取り組みたい。

＜重点目標＞～看護専門職としての学生一人一人を大切にした教育～

全ての学生と教員が看護は楽しいとイキイキする学びの場

- ＜方針・目標＞
1. 学生間、学年間の交流を図り、思いやりと感性あふれる教育場面の充実を図る。
 2. 主体的に学ぶ力を育てる。
 3. 定員40名を満たした魅力ある学校づくり
 4. キャリアデザインを支援する

VI. 意見交換

山口：希望者就職が100%を維持できているところは、素晴らしく、卒後サポートしていく私たちもしっかりやっていかないといけないと感じる。若い人が入学し、2年間学ぶこの期間は大変貴重な時間。今後（2年課程）通信制が7年から5年間に短縮されることになるが、しっかりと教育されて実践の場に出られるか心配なところはある。ここ北斗会では2年間貴重な時間を過ごすことができ、集中して学ぶことができるのでここでの学びは大変大きい。

石川：本校に進学する学生は熱心で勉強したい人が入学してくれている。進路を選択するときに、学びたい人が選択している。卒業生も多くの人が「しっかりと学び直しをした

いので、入学を決めた」「もっと学びたいので入学した」という学生が多い。

辻：本校では学生の登校は一日おきで、学年が違えばなかなか交流する機会もない。卒業式など何らかのイベントがある場合のみで本当に少ない。北斗会ではたくさんの行事があり、交流があり、学生は学びの機会が沢山ある。そういったことでも本校でできなかったことがこちらに入学して体験できていてありがたい。

石川：前日には杏子とりができ、1年生はワイワイと楽しそうにしていた。このような機会は本当に大切だと思う。先週は学校祭も行われた。学校長もよく言われているが、集団で学ぶ機会は本当に大切であると感じている。これからも大切にしたいと考えている。

辻：重点目標にあげている「全ての学生と教員が看護は楽しいとイキイキする学びの場～看護専門職としての学生一人一人を大切にした教育～」ができていて本当に素晴らしいと思う。そういった環境で学生が学んでいる、教員もそれに向かっているということが本当にいい。

石川：教育の場面では教員も負担に感じるなど、難しいと感じる場面もあると思うが、教職員が協力して、相談しながら教育にあたれることが大切であると考えている。

山口：学生の年齢はどの程度か。

森元：今年度入学生の平均年齢は昨年度より若い。34名で29歳。

石川：48回生は年齢の分布でいえば20代、30代が多く、平均年齢は若くなっている。

辻：本校の今年度の入学生は平均年齢が37歳。こちらに入学させていただいている学生も引き続き教育にあたっていただいて大変お世話になっている。准看護師の育成で終わらせるのではなく、看護師を育成することにつながられるようにと考えて教育にあたっている。これからもお願いしたいと思っている。

山口：重点目標や5か年計画、資料など見させていただいて、いつも熱心に丁寧にされている様子がよく伝わってくる。継続して行って欲しい。

石川：日ごろからさわ病院には協力をいただき、実習、卒後の継続教育など行われている。

濱田：最近では就職面接の場面では学生の様子として、まっすぐな素直な学生が多いようにも感じる。しかし、面接時の言葉などを聞くと、そのように表現してよいのだろうかとか気になることもある。それ（社会性）のようなものはどこで教わってくるものなのだろうかと考えることがある。

時折学生の様子を見かけることがあり、賑やかだな、楽しそうだなと感じている。

石川：学校の中では学生同士価値観も違う、背景も違う、年齢も違うところで様々な衝突もあるでしょう。そういった体験を通して人間関係を学んでいっていると思う。学校での様々な体験から学べるように教員も機会を逃さず、教職員が協力して教育にあたりたいと思っている。5か年計画、重点目標ともにいただいたご意見からは適切であると評価されたと考える。今後も学校運営に対してご協力をいただきながら教職員一同努力していきたいと思う。

VII. 学校長による総括

様々な貴重なご意見をいただいた。これからもご協力をいただきたいと思う。お忙しい中、貴重なお時間をいただきましてありがとうございました。

8. その他

次回の会議日程 2026年3月13日（金）14：00

本校図書室にて

終了後には委員長に電話でご報告。会議の内容については承認を得られる。